

# 教育センターだより

平成25年度 第1号 (4月26日発行)



鳥取県教育センター 〒680-0941 鳥取市湖山町北5丁目201番地  
TEL 0857-28-2321(代表) FAX 0857-28-8513  
【URL】 <http://www.torikyo.ed.jp/kyoiku-c/> 【E-Mail】 [kyoikucenter@pref.tottori.jp](mailto:kyoikucenter@pref.tottori.jp)



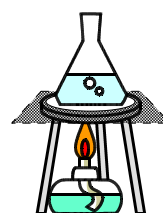
平成25年度に実施するおすすめの講座等を紹介いたします！  
詳細については、ホームページやチラシ等でお知らせしますので、もうしばらくお待ちください。

## 【サイエンスパーク 11月24日(日)】

- ◆会場：県教育センター 大研修室他
- ◆対象：県内教職員
- ◆内容：(午前の部)

サイエンスナビゲーターの桜井進先生を講師に迎えた講演  
(午後の部)

県内大学教授や県外の先進的な取り組みをしておられる教員等をお迎えして  
の理科・科学に関する観察・実験、体験活動、ワークショップ



## 【土曜自主セミナー】

スーパーバイザーによる研究実践校の取り組みの紹介、喫緊の教育課題等について  
指導主事の持ち味を生かした講座を企画します。ご期待ください。

## 教育相談課

『物は相談』と言います。

相談を持ちかける時の前置きの言葉に使われますが、  
もともとは、「何事も一人で考え込まず、人に相談すれば案外  
うまくいくもの」という意味が込められています。  
英語にも「Consult with your pillow / 枕と相談せよ」(たとえ  
枕でも相談することが大事)という表現があります。  
「一人で悩まないで、まずは誰かに相談してみようよ！」って  
いうのは、万国共通ですね。相談をお待ちしています。



- ①電話相談：0857(31)3956 月～土 8:30～17:15
- ②来所相談：0857(31)3956 月～土 8:30～17:00
- ③LDホットライン：0857(28)9882 月～土 8:30～17:15
- ④専門指導員による教育相談：月・木・金(発達について) 9:00～16:00  
火・水(ことばについて) 9:00～16:00
- ⑤専門医による教育相談会：(相談日はお問い合わせください)  
(①～⑤：年末年始・祝日は除きます)
- ⑥相談メール：[soudan@kyoiku-c.torikyo.ed.jp](mailto:soudan@kyoiku-c.torikyo.ed.jp)

予約受付  
0857(31)3956

予約受付  
0857(28)2322

教育相談課は、いじめ・不登校総合対策センターと力を合わせ

『こども未来中心』として活動します。

～ 心をつなぐ、仲間をつなぐ 明日へつなぐ～

## 研修企画課 初任者研修・新規採用教員研修 <4月18日(木)>

今年度は、小学校70名、中学校39名、高等学校4名、特別支援学校24名、養護教諭5名、幼稚園14名、計156名の教諭等が、1年間を通して研鑽を積みます。

開講式の後、「教員としての服務」「教職員評価・育成制度の理解」「鳥取県学校教育の課題」「社会人としてのコミュニケーションマナー」について学び、充実感と緊張感あふれる1日となりました。

### 【受講者の感想より】

教員としての自覚、役割、責任を改めて感じた内容でした。自分のちょっとした甘い考えが、子どもを始め多くの組織の信頼を損ねることになるので、いっそう気を引き締め、子どもと一緒に伸びていきたいと思いました。社会人としてのマナーについて学んだことも、学校でしっかり生かしていきたいです。

### 【光る一言】スィコー商会 増田千佳子さんの講義より 「A B C Dの法則」

(A) あたり前のことを (B) 馬鹿にしないで (C) ちゃんとする。  
それが、(D) できる人。

初任者・新規採用教員のみならず、運営するセンター職員一同の心に響く珠玉の言葉でした。



<講義：教員としての服務>

## 巻末随想 「その立場になってはじめてわかること」

所長 坂本 修一

フレンチブルドッグを飼っている。以前飼っていたのは柴犬とスピッツのミックスのような雑種で、ごく普通の犬だった。ごく普通に毎日朝夕散歩させ、ごく普通に家の外に犬小屋を置いて鎖でつないで飼っていた。しかし、室内犬を飼う家が多くなっている近年、それら全てがごく普通ではなくなっているのかもしれない。

その先代犬の散歩には便の後始末用に袋を持って行き、便を家に持ち帰っていた。だから、道に落ちている犬の糞を見ると、何と不道德な、と心の中で憤っていた。

テレビで、所ジョージさんが、うっかり何も持たずに犬の散歩に出て、犬のした糞をご自身の靴下にくるんで持ち帰ったというエピソードを話された。そういう方法があったかと思うと同時に、所さんの行動に感じ入ったので記憶した。

しかし、一見何も準備していないように見える犬の飼い主の全てが、うっかりの結果袋も持たず、しかも散歩のたびに靴下を一足ずつ無駄にするとは思えない。

かつては、小型愛玩犬に服を着せて散歩させている人の姿にも違和感を覚えていた。犬の気持ちにもなってやってほしいと思っていた。人の趣味につきあわされて着たくもない服を着せられ、さぞや迷惑しているだろうと犬に同情していた。

今飼っている犬は室内犬だ。散歩は必ず毎日させなくてもいい犬種らしい。たまに散歩に連れて出ると喜ぶが、外で排便はしない。家に帰るやいなや大急ぎで家の中の自分のトイレに駆け込む。そして排便をする。一度の例外もない。だから散歩の際には、念のためのナイロン袋をポケットに入れては行くが、これまで一度も使ったことがない。

それから、短毛種なのに抜け毛が多い。対策は犬に服を着せることだ。家中の至る所に抜け落ちている犬の毛の量が全く違う。皮膚も弱いらしく、よく後ろ足で体を搔いていた。もっとも前足で体を搔く犬もいないだろうが、服を着せるようになってからはそのことによるひっかき傷も少なくなった。

そして、今の犬は散歩中、突然歩かなくなる。そうなるとうんと動かない。犬種の特性だそう。道に伏せ、いわゆるてこでも動かなくなる。対策は犬を抱いて帰ること。

服を着せた犬をまるで人間の子どものように抱き、しかも排使用の袋も持ち合わせている様子もなく歩いている私を、人は何と見るのだろう。

世の中には、外から見ているだけではわからない、その立場になってはじめてわかるということがいくらかもある。

人を見ることの難しさを思う。

